

# 令和3年度公共事業事後評価

## 農地保全整備(特殊土壌)事業

### 村山地区

経済産業部 農地局 農地保全課

#### 位置図／事業概要



施工箇所: 富士宮市村山  
受益面積: 129.0ha  
工期: 平成2 ~ 27年度  
事業費: 2,458百万円  
事業内容:

承水路	(10)	4,640m
集水路	(7)	1,773m
排水路	(2)	943m
水路兼農道	(17)	9,408m
関連農道	(3)	2,638m

# 1 事業の目的・必要性

特殊土壌地帯とは

特殊土壌に覆われているために災害が発生しやすく、農業生産力が低い地域として、国土交通大臣、総務大臣、農林水産大臣に指定された地域のこと

全国の特特殊土壌地帯



特殊土壌の種類

シラス、ボラ、コラ、赤水ヤ、花崗岩風化土、ヨナ、富士マサ



地層断面



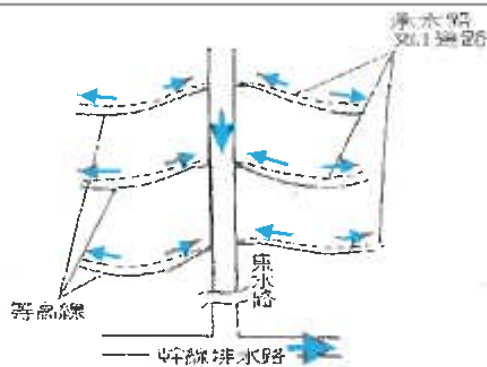
耕作土の流亡状況

耕作土流亡のイメージ

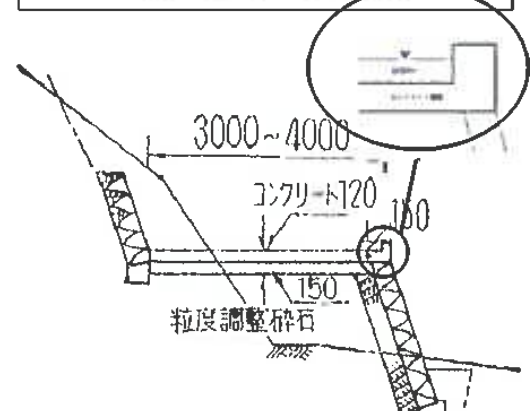


# 事業の目的・必要性

排水整備による農地の保全



水路兼農道の標準断面



水路兼農道



等高線沿いに設置(用地を節約)

承水路



等高線沿いに設置

排水路



集めた雨水を安全に流下 (落差を設け流速を抑制)

## 2 施設の利用状況や被害軽減効果等

	事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果等
前回	2,350百万円	平成2年度～平成23年度	農業持続的発展効果 年総効果額 166,503千円
事後	2,458百万円	平成2年度～平成27年度	農業持続的発展効果 年総効果額 224,556千円
差	108百万円 (1.0%増)	4年延長	年総効果額 58,053千円 (34.9%増)

農業持続的発展効果：

台風等の豪雨により発生する農地、農業用施設の被害が軽減される効果。  
農道開設により、農作業の効率が向上する効果。

効果の増は、単収および単価の増減に伴う変動  
(新)国産農産物安定供給効果を追加計上

## 3 事業の効果の発現状況

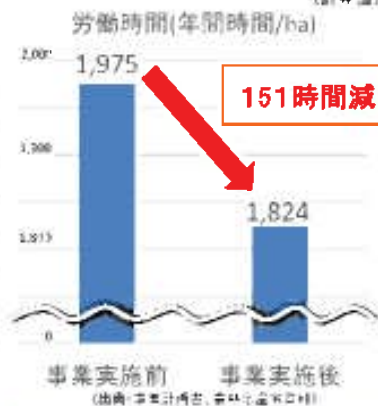
### 1) 農地被害の軽減

災害防止効果  
(農地、農業用施設の被害額 千円)



### 2) 農道整備による営農経費の節減

キャベツの営農時間節減効果  
(計算値)



### 3) 輸送・通作時間の短縮

走行経費節減効果(計算値)



## 事業効果の発現状況 補足説明

**農作業効率を向上する機械の大型化が計画通り実現し、  
整備による作業時間の短縮を実感！！**

○アンケートに回答いただいた農家の96.8%がトラクターを導入

### 2) 農道整備による営農経費の節減効果

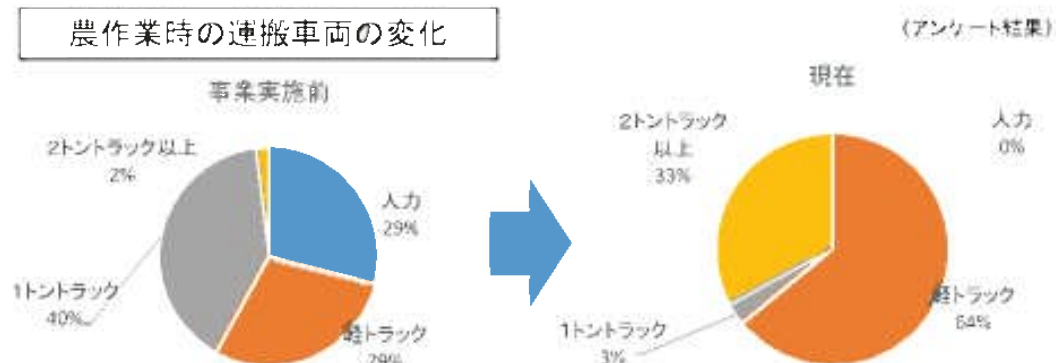


## 事業効果の発現状況 補足説明

**農道整備により運搬車両の大型化が実現！！  
収穫物等の人力運搬が「ゼロ」に！！**

○自宅から農地への往復時間が大きく短縮されたとの意見あり

### 3) 走行経費の節減効果



# 事業効果の発現状況 補足説明

## ○自宅から農地への移動時間短縮事例①



# 事業効果の発現状況 補足説明

## ○自宅から農地への移動時間短縮事例②



**距離の短縮により、運搬時間が1/6へ**

【参考】この事例における二酸化炭素排出量の削減効果(年間) 147kg-CO<sub>2</sub>

## 4 事業実施による環境の変化

### 農山漁村の生活環境について

耕作土の流出被害がなくなり、農地農道が整備されたことにより、多彩な作物が栽培されている

キャベツ



ジャンボ落花生



サトイモ



ジャガイモ



シキミ



大根



ブロッコリー



葉ネギ



ファーマーズマーケットで販売



学校給食における地産地消



学校給食における  
富士山産野菜の使用率は約37%  
〔出典：富士山産野菜の消費センター資料〕

〔食育推進部資料より〕  
学校給食における地産地消物の  
使用率割合  
H26現状値：26.9%  
R2目標値：30%以上  
〔出典：平山小産直センター〕

## 5 社会経済情勢等の変化

### 地域社会の動向

地域における世帯数の増加  
(H24 379世帯 → R2 389世帯)

### 伝統野菜 村山ニンジン

伝統野菜村山ニンジンの周知、栽培の継続を図るとともに、農業への理解を深めるため、地元小学生による収穫体験等を実施



### 地域経済の動向

小規模で多彩な農産物を生産する地域ならではの、農家が直接販売できる直売所が盛んになっている

#### 富士山野菜センター



富士山登山道沿いにある女性だけで運営する直売所。良心的な価格設定で飲食店にも買って仕入れにきます。生産者が直接贈ら込む地場野菜は、品質と新鮮さが魅力。

#### 農人市場



また農産物直売所が現在のように数多くなかった平成10年にオープン。新鮮な地場野菜、地元の特産品などを並ぶに取替箱、リーズナブルな価格で提供。

#### 「う宮〜な」



「JA富士宮」が運営するファーマーズマーケット。平成20年に開設され、地元農産物を中心に販売。令和2年度売上13億円(過去最高)で県内1位

## 6 対応方針（案）

### 評価結果

排水路整備を主に農道環境も改善



事業実施前のような被害はなく、営農や生活環境が向上



**事業効果は発現しており改善措置の必要はない**

### 今後の課題等

○地域の伝統野菜である村山ニンジンやシキミ、落花生等の地域の特色ある農産物のブランド化を目指す

### 同種事業への反映等

○土壌侵食が課題となっている地域において、当地区の土壌侵食防止工法を活用していく。